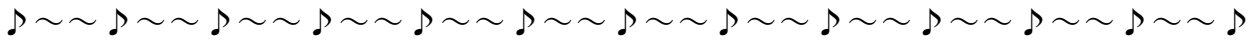




農業担い手メールマガジン（第194号）



「新たな農業経営指標」を活用しましょう！（3つのステップで経営改善！）  
→ <http://www.maff.go.jp/j/ninaite/shihyo.html>

農業経営支援活用ガイド  
→ [http://www.maff.go.jp/j/kobetu\\_ninaite/n\\_pamph/h25\\_guide\\_top.html](http://www.maff.go.jp/j/kobetu_ninaite/n_pamph/h25_guide_top.html)

地域農業の人と農地の問題解決に向けて（パンフレット）  
→ [http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito\\_nouchi\\_booklet.html](http://www.maff.go.jp/j/keiei/koukai/hito_nouchi_booklet.html)

「農地中間管理機構ホットライン」  
電話 03-6744-2151（受付時間 平日9時30分～17時00分）  
E-mail kikou@nm.maff.go.jp



—インデックス—
○ お知らせ
～平成27年産米の都道府県別の生産数量目標等について～
～平成26年度米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、 民間在庫の推移等について～
～鳥インフルエンザに関する情報～
～電気料金節約推進パンフレットの作成について～
○ 担い手のための耳より情報
～省力栽培が可能で収量性の改善された 単為結果性ナス新品種「あのみり2号」～

◆◆◆お知らせ◆◆◆  
～平成27年度産米の都道府県別の生産数量目標等について～  
農林水産省は、平成27年産米の都道府県別の生産数量目標等について、平成26年11月28日（金）に開催した「食料・農業・農村政策審議会 食糧部会」で了承された考え方に基づき設定しました。

## 1. 平成27年産米の都道府県別の生産数量目標

全国の平成27年産米の生産数量目標は、751万トン（面積換算すると142万ha）に決定しました。

## 2. 平成27年産米の都道府県別の自主取組参考値

平成27年産米については、生産数量目標の設定に併せ、仮にこれだけ生産すれば、平成28年6月末の民間在庫が過去の平均水準（199万トン）に近づくこととなるものとして、全国自主的取組参考値739万トンを設定しました。

詳細はリンク先をご参照下さい。

### ■平成27年産米の都道府県別の生産数量目標等について（プレスリリース）

<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/kokumotu/141128.html>

### ■お問い合わせ先

生産局農産部穀物課水田農業対策室

担当：常葉、海老原（Tel：03-6744-7135）

～平成26年度米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、  
民間在庫の推移等について～

農林水産省は、平成26年度産米の「相対取引価格・数量（平成26年10月）」、「民間在庫の推移（平成26年10月末）」等についてとりまとめました。

#### 1. 相対取引価格

平成26年10月の相対取引価格は、全銘柄平均価格で、12,215円/玄米60kg（対前月比▲2.1%）となっています。

#### 2. 契約・販売状況

平成26年10月末現在の全国の集荷数量は240万トン、契約数量は126万トン、販売数量は33万トンとなっています。

#### 3. 民間在庫の推移

平成26年10月末現在の全国段階の民間在庫は、出荷・販売段階で計348万トン（前年同月差▲20万トン）となっています。

#### 4. 事前契約数量

全国の前契約数量は、90万トンとなっています。

詳細は以下のリンク先をご参照下さい。

### ■平成26年産米の相対取引価格・数量、契約・販売状況、民間在庫の推移等について（平成26年10月）（プレスリリース）

<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/kikaku/141128.html>

### ■お問い合わせ先

生産局農産部穀物課水田農業対策室

担当者：常葉、海老原（Tel：03-6744-7135）

～鳥インフルエンザに関する情報～

平成26年度の冬の渡り鳥の飛来シーズンに入り、島根県、千葉県、鳥取県及び鹿児島県で採取された死亡野鳥等から高病原性鳥インフルエンザウイルス（H5N8亜型）が検出されるなど、国内にすでに野鳥による鳥インフルエンザの侵入が認められる事例が続発しております。家きん飼養農家を含む畜産関係者の皆様方におかれましては、引き続き飼養衛生管理の徹底や早期発見に万全を期していただくようお願いいたします。

農林水産省では鳥インフルエンザに関する情報を公開していますので、是非ご活用下さい。

■鳥インフルエンザに関する情報

<http://www.maff.go.jp/j/syouan/douei/tori/>

～電気料金節約推進パンフレットの作成について～

農林水産省は、農業の省電力方策を紹介したパンフレット「農業の冬場の電気代にお困りではありませんか！？」を作成しました。

近年の電気料金の上昇により農業経営に対する影響が懸念されるところです。このため、農林水産省は、農業経営コストの低減に資するため、農業者がそれぞれの農業経営にあわせ電気料金の節約をご検討頂けるよう、一般社団法人農業電化協会のご協力の下、パンフレットを作成し、同協会とともに電気料金の節約の取組を進めてまいります。

農業者の皆様におかれましては、本パンフレットを参考に、電気の使い方をチェックしてみてください。

■電気料金節約推進パンフレットの作成について（プレスリリース）

<http://www.maff.go.jp/j/press/seisan/sien/141128.html>

■お問い合わせ先

生産局農産部技術普及課生産資材対策室

担当者：新技術利用第1班 角田、黒木（Tel：03-6744-2111）

◆◆◆担い手のための耳寄り情報◆◆◆

～省力栽培が可能で収量性の改善された単為結果性ナス新品種「あのみり2号」～

低温期や寒冷地におけるナス栽培では、着果や果実の肥大を安定化するためには、ミツバチ等の訪花昆虫の利用や植物ホルモン剤の処理が必要となります。しかし、植物ホルモン剤の処理は労働時間を要する煩雑な作業であり、訪花昆虫の利用も最低温度に制約されるなどの問題がありました。

そこで農研機構では、受粉作業の不要な単為結果性ナス「あのみり2号」を育成しました。

単為結果性ナスについて農研機構は、これまでも「あのみり」を育成していますが、「あのみり」は一般的な品種に比べて収量がやや低いことや、果形が細長くな



